

LEIPZIG
REGION



音楽の都 ：ライプツィヒ

メンデルスゾーン・フェスティバル 2021
ライプツィヒ・バッハ音楽祭 2021
マーラー・フェスティバル 2021
ワーグナー 2022



ライプツィヒ ここは音楽がすべてです

**Lライプツィヒは800年以上も音楽に命を吹き込み続けています。
毎年音楽家を祝うフェスティバルを開催しています。**

音楽は常に伝統とツァイトガイスト（時代精神）の融合です。ライプツィヒは特にそうです。1212年に設立された聖トーマス教会合唱団は、バロック時代に最も有名な音楽家だったヨハン・セバスチャン・バッハの影響を顕著に受けています。その当時、少年合唱団が今日まで聖トーマス教会でモテットとカンタータを演奏するなどとは、考えてもいなかっただしょう。ライプツィヒには、さらに素晴らしいものもあります。いまや世界的に有名なゲヴァントハウス管弦楽団の歴史は、1743年にライプツィヒの市民によって設立された「グランドコンサート」に始まります。ライプツィヒのオペラはヨーロッパで3番目に古い音楽ステージで、その歴史は1693年まで遡ります。ゲヴァントハウス管弦楽団の音楽監督フェリックス・メンデルスゾーン・バーソルディが、1843年に最初のドイツ音楽院を設立しました。クララとロバート・シューマン、ヨハネス・ブラームス、グスタフ・マーラーもここに在籍しており、音楽史で傑出した作品を作りました。そして訪問者はここにしかない「ライプツィヒ・ミュージックトレイル」を散策できます。そこは有名な作曲家が暮らし活動していた23の場所を結んでいます。こうした音楽の偉人たち、ユニークなアンサンブル、さらに音楽フェスティバルのようなイベントが実施されました。ライプツィヒがどんな場所なのかが全て表れています。これぞまさに、音楽愛好家にとって絶対必要なもの！

ゲヴァントハウス・フェスティバル

「マーラー・フェスティバル2021」

世界の名交響曲10曲を2021年5月13日から24日までの12日間、
ライプツィヒ・ゲヴァントハウスにて公演



2021年5月、ライプツィヒのゲヴァントハウス・コンサートホールで、グスタフ・マーラーの全作品が演奏されます。そこではユニークなプログラムが提供されます。彼の交響曲やその他のオーケストラ作品が、マーラーが交響曲の作曲家となった街で、12日間にわたり10の世界クラスのオーケストラに演奏されます。1886年から1888年まで、マーラーはライプツィヒで形成期にあたる2年間を過ごし、それが後に彼のキャリアの方向性を決めるものとなりました。ライプツィヒとゲヴァントハウス管弦楽団が、本物の体験を提供してくれることをお約束いたします。2011年に行われた最初のマーラー・フェスティバルから10年が経ち、ヨーロッパで最高のオーケストラが再びマーラー交響曲の音の幻想を演奏します。アンドリス・ネルソンス指揮によるゲヴァントハウス

管弦楽団コンサートに加え、ウィ

ーンやベルリンフィルハーモニー管弦楽団、ロンドン交響楽団、アムステルダム王立ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団を含むその他の管弦楽団やそれらの首席指揮者による14に及ぶコンサートもお楽しみいただけます。

コンサートに加え、映画やリサイタル、さらにライプツィヒにてグスタフ・マーラーをテーマにした街歩きツアーもご用意しています。

バッハフェスト ライプチヒ

2021: 「救済」

「バッハのメシアス」の連続演奏会 (2021年6月12-15日)

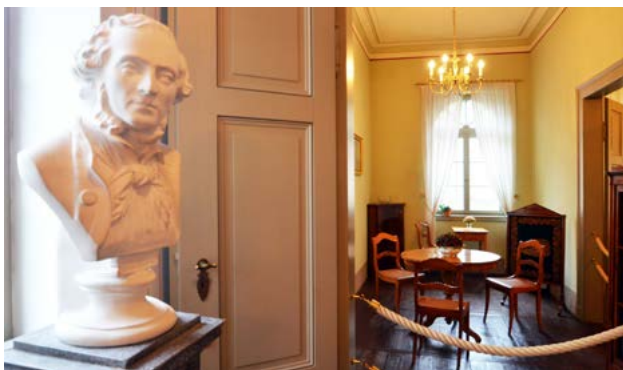
2021年11-20日にライプチヒとその周辺の多数の場所で



バッハフェストで、ライプチヒ市は毎年6月に、ここで1727年から死去する1750年までトーマスカントルであったヨハン・セバスティアン・バッハに敬意を払っています。バッハフェスト2021は、「救済」ということをモットーにしております。はじめに、「バッハのメシアス」で、11のコンサートからなる連続演奏会が4日間にわたって鳴り響きます。そこでは、J.S.バッハによる選ばれた33曲のカンタータ、3つのオラトリオとマタイ受難曲の上演で、イエスの生涯と行為からナザレまでが表現されています。連続演奏会では、トン・コープマン、鈴木雅明、あるいはハンス・クリストフ・ラーデマンのような世界的に有名なバッハの指揮者が参加します。もちろん、トーマスカントルであるゴットホルト・シュヴァルツもトーマス教会少年合唱団と共に参加します。「ブランデンブルク協奏曲」の300回目の誕生日に際して、いくつかの世界最高峰のバロックオーケストラがこの伝説的な連続演奏会のコンテクストに光を与えます。要約: バッハフェストのハイライト—それぞれのコンサートで感じ取ることができ、引退した教皇ベネディクト16世は有名なトーマスカントルの音楽のバッハフェストでの序文で、次のように証明しています: 「人類全体は、いつでも触れ、今後も触れるでしょう。」 バッハが活動を行っていたライプチヒで上演されることにより、世界中のバッハ巡礼者は忘れられない体験を得ることができます。

メンデルスゾーン・フェスティバル

2021年：メンデルスゾーンの傑作、ロマン派の音楽を、
2021年11月1日から11月7日まで、
ライプツィヒのゲヴァントハウス・コンサートホールと
メンデルスゾーンハウスで公演



フェリックス・メンデルスゾーン・バルトルディの記憶は、ライプツィヒで今なお生きています。伝統として、作曲家と演奏家はメンデルスゾーンが亡くなった日にあたる毎年11月4日のメンデルスゾーンの日に、多くのコンサートを開催して追悼します。メンデルスゾーンの追悼は1997年からメンデルスゾーン・フェスティバルで行われていますが、2021年からはライプツィヒのゲヴァントハウス・コンサートホールとメンデルスゾーンハウスでのコラボへと大変身し、多様で挑戦的なプログラムを提供します。2021年秋のフェスティバルでは、アンドリス・ネルソンの指揮の下、ゲヴァントハウス管弦楽団によるコンサートや、一流のアーティストやアンサンブルが演奏するロマン主義時代の合唱と室内楽を楽しむことができます。2022年、ライプツィヒは作曲家の没175年を幅広いイベントで追悼します。目玉の1つはメンデルスゾーン・フェスティバルです。

www.gewandhausorchester.de

www.mendelssohn-haus.de

ライプツィヒ・オペラ・フェスティバル

「ワーグナー2022」

ワーグナー作曲の13のオペラ作品を2022年6月20日から7月14日までの3週間にわたり、ライプツィヒ歌劇場にて公演



2022年夏、音楽界ではライプツィヒに注目が集まります。リヒャルト・ワーグナーの生誕地にあるオペラハウスで、ワーグナーが作曲した全13曲が年代順に演奏されます。この取り組みは、世界中のどこを見ても初めてのことです。ライプツィヒのオペラは遡ること325年以上もの伝統があり、音楽の王冠をもつ宝とも言うべき都市です。バッハ、シューマン、メンデルスゾーン、ワーグナーといったライプツィヒの作曲家たちは音楽史を築いてきました。「ワーグナーの故郷は、彼の作品を愛するファンにとって、いまだに人気の目的地です。」その理由の一つは、世界最高峰のオーケストラであるゲヴァントハウス管弦楽団の音楽家たちによる傑出したオペラ上演のクオリティにあります。それは驚くことではありませんが、国際的に活躍するワーグナー演奏家たちは、特にウルフ・シルマー指揮によるゲヴァントハウス管弦楽団と共にワーグナーの作品を演奏したいと熱望しています。

リズムの祭典

音楽の都
：ライブツィヒ

ライブツィヒ・バッハ音楽祭
毎年

メンデルスゾーン・
フェスティバル
毎年、2021年より開始

ゲヴァントホール・
フェスティバル
2年に一度

ライブツィヒ・オペラ・
フェスティバル
2年に一度

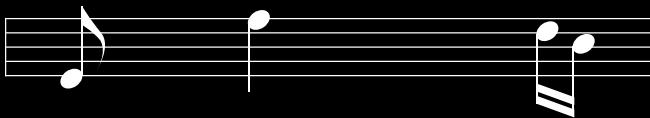
2020



2021



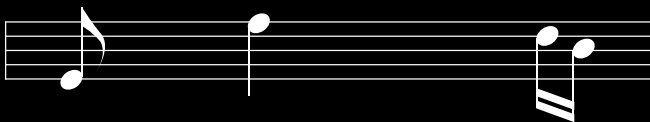
2022



2023



2024



音楽フェスティバルと旅行パッケージの詳細については、以下を
ご覧下さい:

WWW.LEIPZIG.TRAVEL/CITYOFMUSIC

発行元

Leipzig Tourismus und Marketing GmbH
Augustusplatz 9, 04109 Leipzig

画像著作権

Skyline Leipzig © Tom Schulze
Bach Festival © Gert Mothes
Mendelssohn House © Andreas Schmidt
Leipzig Gewandhaus concert hall © Jens Gerber
Leipzig Opera "The Flying Dutchman" © Tom Schulze

発行日

2020年11月4日



City of Leipzig